

2050年に二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の推進につきましては、市民や事業者の皆様への周知啓発に取り組むとともに、省エネルギー施策として、アコスホールの舞台や客席の照明のLED化工事を行うなど、地球温暖化対策の推進に段階的に取り組んでまいります。



「ゼロカーボンシティ」共同宣言

地域経済の活性化

次に、「地域経済の活性化」に関わる取組について申し上げます。

産業振興に向けた取組につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化に伴う地域経済への甚大な影響に対応するため、引き続き緊急経済対策として「第二次産業強靱化戦略」に取り組んでまいります。

具体的には、地域経済を力強く支えるため、消費喚起につながるプレミアム付商品券事業等を実施するほか、市内事業者の新分野展開や業態転換などの経営革新を支援するため、経営革新チャレンジ支援事業等を実施することにより、ポストコロナを見据え、地域経済が着実に発展していく包括的な支援を進めてまいります。

また、「企業立地促進奨励金」による市内での企業立地の促進に引き続き取り組むとともに、工場見学などができる産業観光施設の開設など、地域貢献に資する取組に対して支援を行い、住環境と操業環境の共生を図る「住工共生のまちづくり」を推進してまいります。



草加市プレミアム付商品券

だれもが地域で、いつまでも元気に暮らせるまちづくり

次に、「だれもが地域で、いつまでも元気に暮らせるまちづくり」に関わる取組について申し上げます。

スポーツ・健康づくりに関する取組につきましては、旧松原団地D街区にテニスコートを整備し、令和4年10月の供用開始を目指すとともに、スポーツ健康都市記念体育館の競技場においては、スポーツ施設としての環境向上と避難所としての機能強化を図るために、空調設備の設置に向けた取組を進

めてまいります。

また、「草加市スポーツ推進基本方針」において、健康づくりの拠点エリアと位置付けている市北東部地域におけるスポーツ施設の整備、更新を進めてまいります。

具体的には、市北東部地域での屋外スポーツ施設整備や老朽化した市民温水プールのリニューアルを行ってまいります。

また、東京2020オリンピックを契機に人気が高まっているスケートボードパークの整備に向けた取組を進めてまいります。

地域福祉の推進に向けた取組につきましては、複雑化・複合化した課題を抱える市民の皆様への包括的な支援と地域づくりに向けた支援の総合的な実施に向け、重層的支援体制を整備してまいります。

障がい者・児への支援

障がい者・障がい児の方々に対する取組につきましては、「児童発達支援センターあおば学園」の新園舎整備を引き続き進めてまいります。



あおば学園整備イメージ図

また、市内における重症心身障がい者の方が利用する生活介護事業所について、定員不足が見込まれることから、重症心身障がい者の方を受け入れるため、「障害福祉サービス事業所つばさの森」を活用してまいります。

さらに、手話通訳者派遣事業における草加市社会福祉協議会の正規職員の専任手話通訳者を増員することで、聴覚障がい者の支援体制を拡充してまいります。

予防接種法で定期接種とされている子宮頸がん予防ワクチンにつきましては、国が積極的勧奨実施の方針を示したことから、接種対象者に対して個別に受診勧奨を行ってまいります。

重点テーマ②

ブランド力の向上

重点テーマの二つ目は、「ブランド力の向上」です。

まちの持続可能性を向上させるためには、まちの活力を将来にわたって維持していかななくてはなりません。そのためには、市民の皆様には「いつまでも住み続けたい」「ここで子どもを育てたい」と思ってもらえるまちをつくらなければなりません。

今後も、更なるまちの魅力づくりを進め、草加のブランド力の向上に向け

て、都市基盤の整備、にぎわいの創出、子育て支援や教育の充実など、ハードとソフトの両面から取組を進めるとともに、草加の魅力や施策を内外に効果的に発信してまいります。

魅力あるまちづくり

はじめに、「魅力あるまちづくり」に関わる取組について申し上げます。

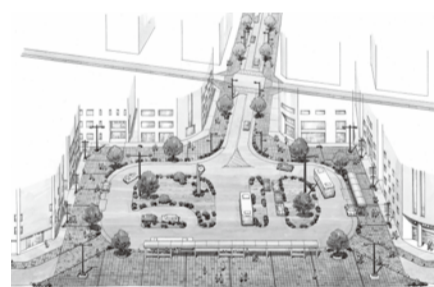
まちづくりの基本となる計画、草加市都市計画マスタープランは、平成29年度から運用を開始しており、本年で6年目を迎えます。

その間、市街化調整区域の一部において、草加柿木産業団地の造成工事が完了し、東埼玉道路の自動車専用部、都市計画道路、蒲生・柿木川戸線などの事業も動きが始まり、市街化調整区域を取り巻く状況が大きく変化しています。そこで、市街化区域への編入も含めた土地利用の検討を行うとともに、都市計画マスタープランの中間見直しに取り組んでまいります。

都市基盤の整備に関する取組につきましては、引き続き新田駅周辺において、土地区画整理事業による公共施設の整備などを進め、災害に強い良好な居住環境の整備を図るとともに、にぎわいと親しみのもてるまちなみ景観の形成に向けたまちづくりを進めてまいります。



新田駅東口駅前整備イメージ図



新田駅西口駅前整備イメージ図

また、獨協大学前<草加松原>駅西側地域においては、獨協大学、独立行政法人都市再生機構、民間開発事業者及び本市が連携を図り、地域のにぎわい創出に向けた取組を進めてまいります。

さらに、同地域において、新たなモビリティサービスによるICTを活用した安全で快適な移動手段の構築を目指す、MaaSの取組についての調査研究を行ってまいります。

公園・緑地の整備につきましては、草加市みどりの基本計画に基づき、各地区の実情に応じた公園・広場の整備により、みどりのネットワークを形成し、都市環境における環境保全や、地域コミュニティ・防災機能などの向上を図ってまいります。新規公園整備として、吉町一丁目のあずま保育園跡地

における公園整備工事を進めてまいります。

また、桜の名所として、本市の観光資源にもなっている葛西用水沿いの桜並木について、保全管理計画に基づいた桜の植え替えや害虫駆除を行うとともに、護岸や遊歩道の改修などの取組を引き続き進めてまいります。

草加らしい文化芸術の振興

文化芸術に関する取組につきましては、松尾芭蕉にゆかりのある全国の自治体や関係機関が参加して昭和63年度から開催されている「奥の細道サミット」を本市で開催いたします。国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の魅力を広く発信する機会となるとともに、第2回国際俳句大会の表彰式も併せて行い、草加に息づくにぎわいと活力にあふれた草加らしい文化芸術の振興を図ってまいります。



草加松原の松尾芭蕉翁像

情報発信の取組につきましては、市民の皆様にとってわかりやすく効果的に情報を伝えるために、SNSなどを活用した情報発信力の強化に取り組んでまいります。

まちのにぎわいの創出

次に、「まちのにぎわいの創出」に関わる取組について申し上げます。

駅周辺のにぎわいや魅力の創造をもたらす取組につきましては、草加駅東口駅前広場の施設改修や歩道整備などを引き続き進め、駅利用者の利便性の向上を図るとともに、都市再生推進法人等と連携した公共空間の利活用など、まちの価値向上に向けた取組を引き続き行ってまいります。

また、谷塚駅周辺エリアにつきましては、商店街の活性化やにぎわい創出につなげるため、文教大学との連携を深めるとともに、谷塚駅周辺エリアを対象としたリノベーションスクールを引き続き開催し、これまで提案のあった事業計画の実現を支援するなど、民間主導・公民連携によるリノベーションまちづくりを推進してまいります。



第1回リノベーションスクール@やつか